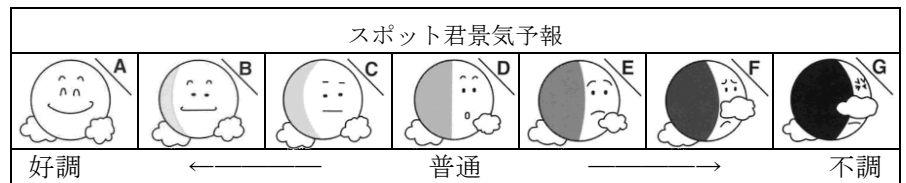
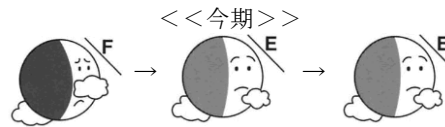


2. 目黒区内中小企業の景況（令和5年1～3月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△14.3で前期比7.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△1.0で6.8ポイント増、収益は△16.0で8.0ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△20.2で1.8ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は5.8ポイント減の△20.1と低調感がかなり強まる見込み。

卸売業



業況は△47.9で前期比5.1ポイント減と若干低調感が強まった。売上額は△42.7で19.7ポイント減と極端に減少幅が拡大し、収益は△32.3で12.6ポイント増と大きく持ち直し、資金繰りは△12.6で0.4ポイント増と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は23.8ポイント増の△24.1と厳しさが極端に和らぐ見込み。

小売業



業況は△9.7で前期比1.6ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は3.0で14.6ポイント増と増加に転じ、収益は△1.6で10.3ポイント増とかなり減益幅が縮小し、資金繰りは△2.2で12.4ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は9.6ポイント増の△0.1と大きく上向く見込み。

サービス業



業況は△28.1で前期比13.1ポイント増と大幅に持ち直した。売上額は△15.0で4.8ポイント増、収益は△19.8で4.2ポイント増とともにわずかに減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△11.3で7.5ポイント増と大きく改善した。来期の見通しについては、業況は3.8ポイント増の△24.3と厳しさが多少和らぐ見込み。

建設業



業況は△6.8で前期比2.6ポイント増と幾分厳しさが和らいだ。売上額は0.5で10.6ポイント減と大きく増加幅が縮小し、収益は△6.8で10.7ポイント増とかなり改善し、資金繰りは△3.0で11.0ポイント減と厳しい状況に転じた。来期の見通しについては、業況は1.1ポイント増の△5.7と今期同様の悪化幅で推移する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

